

# ユニオンファンド 月次レポート

第183号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年2月6日作成

## MONTHLY TOPIC

### この仕事の本当の目的

当社の仕事の本来的な目的は、お客様が資産を増やすお手伝いをする、それに貢献する、ということです。当社のような投信会社の重要な任務は運用成績を上げることであり、そのために最善を尽くすのは当然のことですが、それだけでは足りないと考えています。運用成績さえ良ければお客様の資産が増えるとは限らないからです。

#### 良い商品を買ってもこれでは増えない

お客様が資産を増やしていけるように、まずは次のような落とし穴についてお伝えすることも大切な仕事でしょう。

第一は、値下がりした時に恐くなって売ってしまうこと …値下がりには自分の資産の減少を意味しますから、慣れないうちはとても嫌なものです。理由を聞けば良くないことばかりであり、売るのが合理的だと思えてくるかもしれませんが。大底圏で不安が極限に達し、反発目前で投げ売りする人は少なくありません。

第二に、上がると「儲かってよかった」と売ってしまうこと …投げ売りよりはマシですが、ありがちな落とし穴の一つです。売った後に下がって買い戻せば良いですが、いつもうまくいくとは限りません。買い戻し価格が売値より高くなってしまったり、ずっと買えないままで終わってしまったり、ということもあります。

#### “長期 ほったらかし つみたて投資” が持つ3つめのポイントにも注目

運用成績あるいは投資の収益「率」は資産づくりの重要な要素ですが、資産を作ることが目的であるなら、最終的にどれだけたまったかという「金額」に目を向けたいところです。

普段からお伝えしていることではありますが、当社がつみたて投資を強くお勧めしているのにはいくつか理由があります。①これから資産づくりをしようという人は、多くの場合まとまったおカネがまだ無いので、まずはつみたて投資から始めるのがよい。②つみたて投資は時間分散によって価格変動リスクをある程度緩和できるので、初心者や投資環境の分析などに時間を使えない多くの人に適している。

加えて、③つみたて投資で投資元本を増やし続けられれば、それ自体が将来使える資産になる、という点も重要です。

資産づくりの最善策は、すぐに大きく値上がりするものを常に探すことだ、と思っている人が多いように感じます。そうした投資先が次々に見つかればよいですが、世の中そう簡単ではありません。今あるおカネを動かして効率よく増やすことを狙いすぎると、結果的に前述の第一や第二の落とし穴にはまりかねません。「資産の総額を増やす」ということに焦点を当てるなら、③は見落とされがちですが案外効果は大きいです。できるだけ早く始め、なるべく中断せずに続ける“長期 ほったらかし つみたて投資”を改めてお勧めしたいと思います。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2024年1月末現在)

## 基準価額

35,963 円

## 純資産総額

128 億 30 百万円

## 期間別騰落率(%)

1 ヶ月	3.03%
1 年	16.62%
3 年	28.35%
5 年	60.25%
10 年	98.12%
設定来	259.63%

## 複利年率(%)

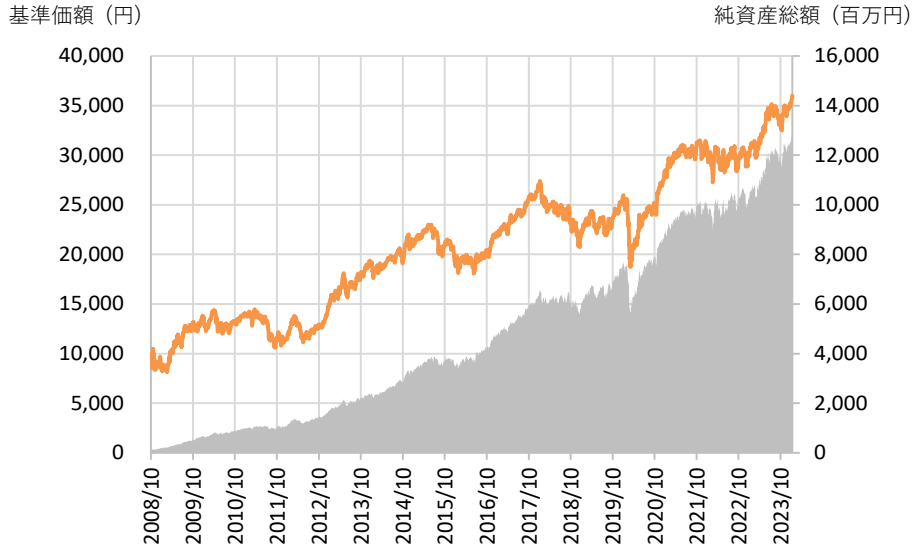
8.73%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

\* 設定来、分配の実績はありません。

## 基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

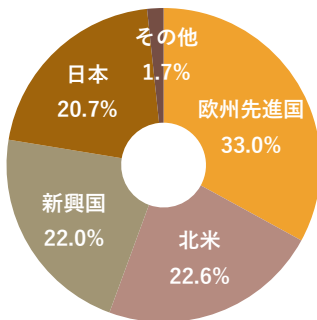


## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.9%	5.2%
スパークス F	日本	12.2%	2.3%
キャピタル F	欧米	19.2%	5.3%
ハリス F	欧米	19.3%	3.0%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.8%	4.2%
コムジェスト・エマージング F	新興国	17.9%	2.6%
現金等	-	13.8%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2023年12月末現在)

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2024年1月の市場動向と運用状況

## 投資環境

1月の株式市場は、世界的なインフレ鈍化と金融緩和期待、米国景気の予想以上の底堅さなどから総じて堅調に推移しました。中でも日本株の上昇が目立ちましたが、これは前年末に日本株が米国株等に対して出遅れ感があったところに、円高が一巡したことや外国人投資家による買いが急増したことが背景と見られます。

米国株は、インフレが鎮静化して利下げ観測が広がったことや、企業業績の好調予想から上昇が続きました。欧州株は、景気が引き続き弱かったうえ、ラガルド総裁をはじめ ECB（欧州中央銀行）の関係者が利下げに慎重な姿勢を改めて前面に出してきたことから、小幅高にとどまりました。中国株は、2023年の GDP 成長率が政府目標を達成したものの、不動産市況の悪化が止まらず足元の景気も軟調だったため、下落が加速しました。

為替市場では、日銀の金利引き上げ予想と米国の利下げ予想が同時に後退し、日米金利差の縮小がしばらく先になると見られたことから、円は他通貨に対してほぼ全面安となりました。

## 運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は上昇しました。ただ、多めに組み入れている新興国株の上昇が小幅にとどまったことなどから、市場全体の動きに出遅れました。

売買は見送りました。月末の組入比率は 86.2%と、前月から若干上昇しました。

## 今後の見通し

米国株は、代表的株価指標であるダウ平均と S&P500 指数が高値を更新するなど好調ですが、懸念要素も見られます。中央銀行に当たる FRB（連邦準備制度理事会）のメンバーは、政策金利である FF 金利を拙速に引き下げることの弊害やリスクを挙げ、金融政策の緩和転換に慎重な発言を繰り返しました。市場はそれを無視してきましたが、雇用情勢の想定以上の強さなどから、金融緩和に対する FRB の慎重な方針がむしろ正しそうだとの反省ムードが広がり、利下げ期待は足元で急速に後退しました。それでもなお、市場は直近（2月2日時点）で年末までに5回の利下げを予想しています。仮にそうなったとしても FF 金利はようやく 4%まで下がるに過ぎません。これは過去の平均を上回る水準であり、今後どこかの時点で米国景気に重荷として響いてくる可能性が残っています。

利益に比べて株価が割高か割安かを測る PER（株価収益率）は、現在もかなり高めです。このことは、金利の大幅低下と企業業績の好調持続のいずれかまたは両方を投資家が予想していることを示唆します。しかし金利はすぐに大きく下がる状況ではなさそうです。もし金利が大きく低下するとしても、その時は景気が減速・悪化していて、企業業績が今より調子を落としている可能性がある、と考えるのが妥当でしょう。

株価は理屈通りにはなかなか動きませんから、米国株が下がると断定することはできません。しかし、好調の米国にはこうした危うさもあることは頭に置いておいた方が良いでしょう。このほか、連日伝えられている中国株の不振とその背景にある不動産市場の混乱などにも留意が必要です。こうしたことから、大きな下落場面があればそこで買い増しすることを視野に入れつつも、引き続きやや慎重な姿勢を維持する考えです。

運用責任者 久保田徹郎

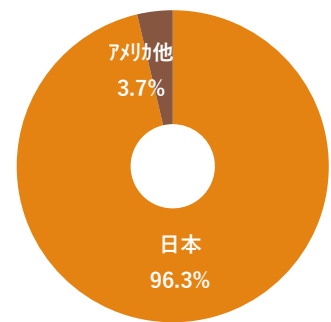
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



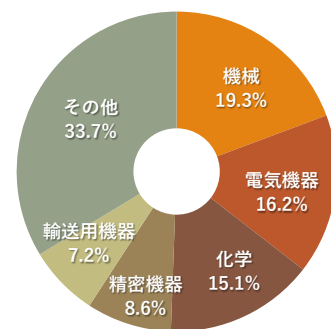
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.7%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	4.1%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 プリマストン	3.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
4 ダイキン工業	3.7%	日本	機械	エアコン世界首位
5 トヨタ自動車	3.6%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
6 テルモ	3.5%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
7 浜松ホトニクス	2.9%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 INPEX	2.5%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
9 花王	2.1%	日本	化学	トイレットペーパー首位
10 セブン&アイHD	2.0%	日本	小売業	大手総合小売業
<b>上位10銘柄</b>	<b>32.7%</b>	<b>現金等</b>	<b>12.2%</b>	

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年1月末現在>

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



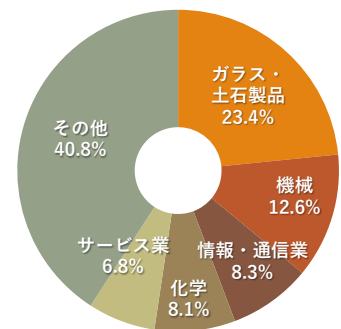
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スプーラー
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
サイゼリヤ		日本	小売業	ファミリーレストラン
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
<b>現金等</b>	<b>5.0%</b>			

業種別構成比(マザーファンド)

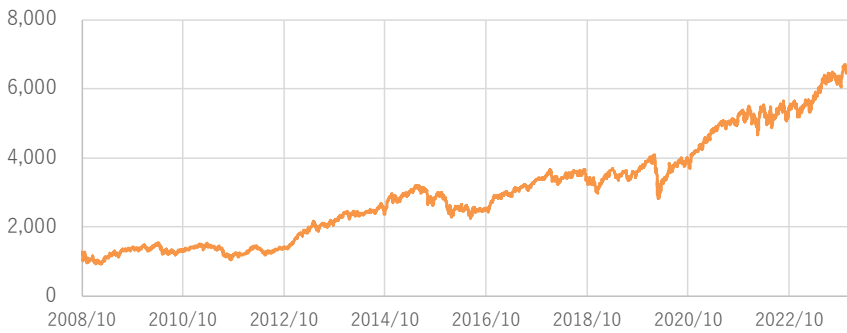


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年12月末現在>

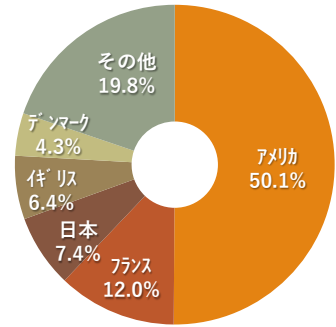
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保障するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



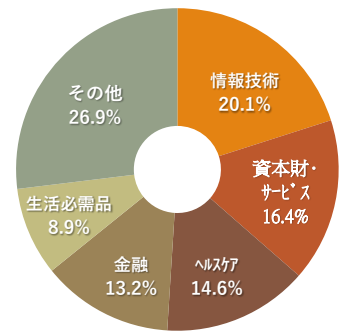
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	2.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Broadcom	2.7%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 Microsoft	2.7%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 Alphabet	2.3%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
5 Apple	2.0%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 Safran	1.9%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
7 ASML	1.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
9 TotalEnergies	1.5%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
10 SAP	1.3%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	20.8%	現金等	5.1%	

業種別構成比



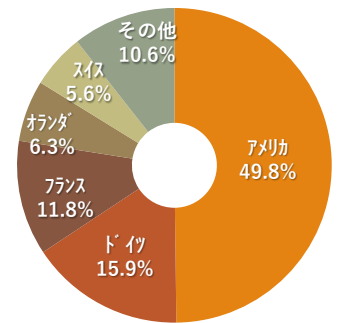
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年12月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



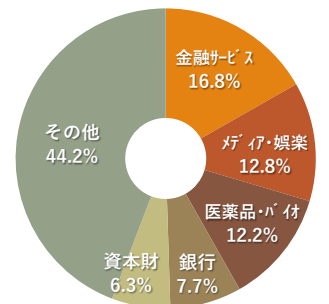
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	3.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 CHARTER COMMUNICATIONS	3.8%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
3 CNH INDUSTRIAL	3.8%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
4 ALPHABET	3.7%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
5 CAPITAL ONE	3.6%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード事業等
6 IQVIA	3.6%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
7 FISERV	3.5%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
8 BANK OF AMERICA	3.5%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
9 MERCEDES-BENZ	3.4%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
10 FRESENIUS	2.9%	ドイツ	ヘルスケア機器・サービス	透析医療サービス・関連製品
上位10銘柄	35.6%	現金等	3.9%	

業種別構成比(マザーファンド)

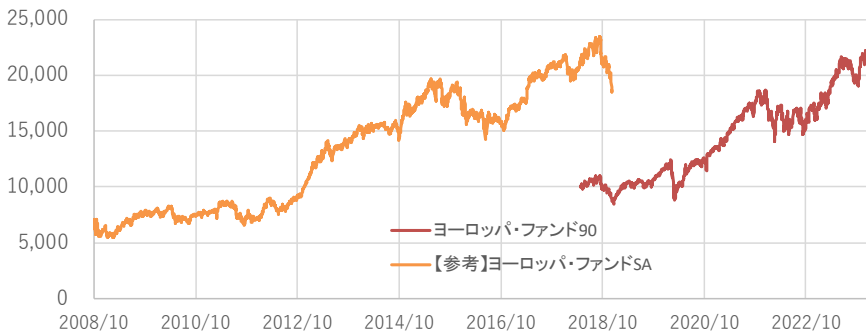


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年12月末現在>

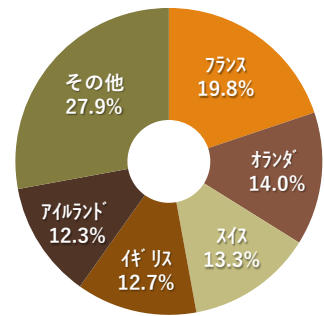
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



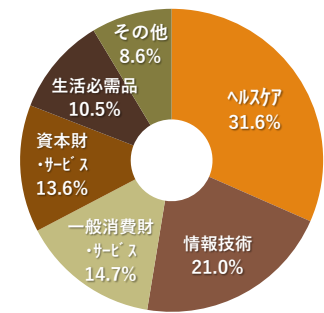
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	8.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 NOVO NORDISK	8.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 ACCENTURE	4.7%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
4 ESSILORLUXOTTICA	4.5%	フランス	ヘルスケア	光学製品
5 LINDE	4.4%	ドイツ	素材	産業ガス世界大手
6 EXPERIAN	4.1%	ドイツ	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
7 STRAUMANN HD	3.9%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
8 LVMH	3.6%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
9 DASSAULT SYSTEMES	3.4%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフト会社
10 ALCON	3.4%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
<b>上位10銘柄</b>	<b>48.9%</b>	<b>現金等</b>	<b>2.4%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



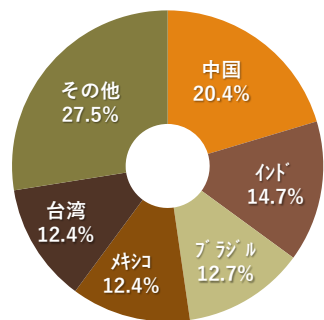
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年1月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



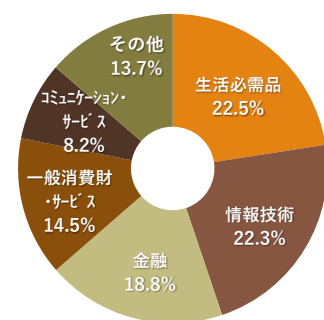
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	7.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 FOMENTO ECONOMICO	6.8%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
3 MERCADOLIBRE	5.5%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 SAMSUNG ELECTRONICS	5.4%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 Wal Mart de Mexico	4.5%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
6 DELTA ELECTRONICS	4.5%	台湾	情報技術	電源、変圧器
7 HDFC BANK	4.0%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
8 NETEASE	3.9%	中国	コミュニケーション・サービス	オンラインゲーム
9 INNER MONGOLIA YILI	3.6%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
10 TENCENT	3.6%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
<b>上位10銘柄</b>	<b>49.6%</b>	<b>現金等</b>	<b>1.1%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年1月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

## 「取引報告書」について

「取引報告書」(圧着はがき)は、お取引の都度、「預り区分」ごとに作成される報告書です。

NISA 口座でお取引いただいた場合、取引報告書は「NISA 預り(成長投資枠)」の情報が記載されており、報告書中の「取引後残高」の部分(取引後残高口数や取得単価、投資元本、評価金額)につきましても、「NISA 預り」分の情報のみ記載されております。

したがいまして、「特定口座」で保有されている残高がありましても、「NISA 預り」の「取引報告書」の残高状況には記載されません。

課税口座(特定口座、一般口座)と非課税口座(NISA 口座)両方の残高状況につきましては、大変ご不便をおかけいたしますが、お取引があった場合に四半期ごとにお送りする「取引残高報告書」(封書タイプ)、または弊社業務管理部までのお電話(TEL:0263-38-0725)にてご確認ください。

## スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。**弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。**

購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。

販売手数料はかかりません。

**<当日のスポット購入のお申込みは、15時までに弊社でご入金を確認できたものに限ります。>**

弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」は、振込みが24時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、**当日15時までに「弊社でご入金の確認ができたもの」が当日のお申込み受付分となります。**15時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

※ 15時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。

※ お振込みの際は、「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前をお願いいたします。

※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。

(お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。